

# チンポマンの漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

## ■アンケート調査概要

調査目的	チンポマンの漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	チンポマンを読んだことのある20代～40代の男女10名
調査期間	2025年1月17日～2025年1月19日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	<a href="https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/chinpom-an-kou/">https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/chinpom-an-kou/</a>

## ■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: チンポマンの面白いところやいいところなどの感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

回答	回答数
30代女性	2名 (20%)
40代女性	2名 (20%)
20代男性	1名 (10%)
30代男性	2名 (20%)
40代男性	3名 (30%)

Q2: チンポマンの面白いところやいいところなどの感想を教えてください。

よくあるキモ男、少し差別的な表現にはなるが最近の言葉で言うならば弱者男性の単なる妄想話ではあるものの、一周回って王道を貫いている為そこが良い。表の人間の青春が"君に届け"であるとすれば、裏の人間の青春は本作である。そもそも高校時代を振り返ると、常に彼女が居た男子など30%程度に過ぎなかったように思える。つまり、70%以上は裏の人間なのである。そんな世の中の70%の男性が想像したことのあるあの子は俺の事を好きなのではな

いかという勘違いはまさに青春活劇と言って異論は無いであろう。

裏の人間の最高地点、とくにご覧あれ。

誰も幸せにならない何とも言えない救いようのないストーリーです。気持ちの悪い主人公の清田を気にかけてくれる優しくかわいい木内さんが、主人公の清田にレイプされるシーンは背徳感がありながらも興奮できます。優しくしてくれたのに相手を思いやる気持ちのないしょもない主人公になんとも言えない気持ちになります。

男性の人が羨ましがするようなバカ設定だから凄く面白くて、いじめられっ子だった主人公がひよんなことから大好きな女の子を抱ける展開になっていくところがたまらないですね。ドキドキハラハラの展開だし漫画ならではのありえない展開がこの作品の魅力だと思いました。女の子も凄く可愛らしく描けているから最高でしたね。

この作品の主人公清田に注目してほしいですね。見るからにオタクの彼は周りからかなり毛嫌いされているのですが、それがすごく興味深いですね。気持ち悪いことを生かしてヤンキー女子たちの制裁道具として暗躍しているのがとても良いです。キモい男子が可愛い女子に接近するという流れはどのようにこうもエロいのでしょうか。展開にシュールさが散りばめられていて、すごく面白いですしチンポマンというタイトルの通り卑猥な行為が多いので非常に楽しめます。

作画のクオリティが非常に高い作品なのでめちゃくちゃ好きですね。中でも女性キャラのデザインがかなり魅力的でエッチシーンでもその魅力が爆発しているのだからたまりません。個人的に主人公のキモい男子清田が作品内にいることでエッチシーンのクオリティも更に向上しているように思います。ヒロインの木内結ちゃん存在感もかなりあって、清田が彼女に片想いしている内面なんかもフォーカスしているので俄然目が離せません。

明るいギャグマンガかと思いきや、もっと上げつないストーリーでした。女ヤンキーたちの制裁の道具として使われる主人公。キモくてクラスのヒエラルキー底辺の男子っていじめ被害に遭うことも多いでしょうが、これは最低の扱いですね。むしろうらやましいのでしょうか。勝手に特定女子から好意を持たれてると思ったり、いじめられっ子主人公が可愛そうってよりも自業自得な性格なところを含めおもしろい。

いじめられっ子が奮起してって物語とは違う。そもそもいじめられる主人公もかわいい女の子といっぱいやれるのだからうらやましい。木内結が自分のことを好きかもなんて勝手に思っていて、そんなところがうざくてキモイ。クズな男子が自分の価値観で動き回る。胸糞悪さが逆にいいのかも。タイトルである程度は読む人が分けられて正解な作品。

女子にイジメられながらも竿役を命じられている清田くんが羨ましくてたまらない。

そんなキモキャラの清田にだって好きな子がいる。というまたキモい設定が妙にリアルですね。

清田くんの勘違いに偽善という要素を加えた同人マンガ。

タイトルだけはストレートなのもまた妙。

ギャルヤンキーから清純派まで女子の描き方とセックスシーンも生々しいので実用性の高さも魅力です。

暗稿先生の描く「チンポマン」と、タイトルをみれば卑猥なヒーローが出てくる作品かと思いきや、なんとも切なさを感じさせるお話となっていました。清田智久と作中で最も恵まれない主人公である彼が、最悪の結末を迎えて行く内容は、実際に読み終えた後に寂しさを覚える内容ともなっていました。清田はキモ男として扱われ、イジメを受ける毎日を送っていました。そんな彼は不良女子達に制裁の竿役として扱われており、気に食わない女子を犯す役割を与えられているなど、女性に愛されることのない彼が、唯一に女性と性交ができるチャンスを得ていました、しかしそんな日々の中で、次なる制裁相手が、まさかの初恋の女性だったと、彼は思わぬ形で好きな女子とセックスをする事になるのですが、初恋の人を汚して拭えぬ傷を与えてしまう最悪の結末を迎えて行きます。ヒーローみたく活躍する事も出来なければ、救う事もできず、自分の無力感に苛まれながらも、愛する人とセックスが出来た事に喜び、涙する事になる、そんな主人公の切ない物語となっています。

最初に「チンポマン」というタイトルを見たとき、「えっ？」と驚いた方もいるかもしれません。でも、この作品の面白さは、そんな先入観を軽々と飛び越えてくるところにあります。読んでみれば、そこにはただのギャグ漫画では終わらない、奥深い世界観と心に残るストーリーが広がっています。

まず、主人公のチンポマンがとにかく個性的。ユニークな設定ながらも、困っている人を見過ごせない優しさや、真っ直ぐな信念を持っている姿に、読んでいるうちにどんどん愛着が湧いてきます。そして、周りのキャラクターも一人ひとりが魅力的で、時にはクスッと笑わせ、時にはグッと胸を打たれるシーンを作り出します。

また、この作品の面白さはテンポの良い展開と予測不能なストーリーにもあります。笑いながら読んでいると、急に感動的なシーンが訪れたり、深いテーマが顔をのぞかせたりと、ただのギャグ漫画では終わらない厚みを感じられるのが特徴です。

さらに、ギャグのセンスが抜群！細かいところまで計算されたユーモアが随所に散りばめられていて、思わず声を出して笑ってしまうことも多々あります。それでいて、ただ笑いを提供するだけではなく、どこかホッとする温かさや共感できるメッセージも含まれているのが素敵です。

「チンポマン」は、その奇抜なタイトルに隠れた、笑いと感動の詰まった作品です。最初は軽い気持ちで手に取っても、気が付けば夢中になって読み進めてしまうこと間違いなし！ぜひ一度その世界を体験してみてください。

**漫画全巻の部屋**

by (株)グリックス